

安心を未来につなぐナイトです。



川崎市

川崎市と独立行政法人製品評価技術基盤機構との間で

「地域における化学物質のリスク評価に係る連携・協力に関する協定」を  
締結しました

平成30年 8月31日

報道発表資料

川崎市

独立行政法人

製品評価技術基盤機構

## 1 目的

川崎市と独立行政法人製品評価技術基盤機構（以下「<sup>ナイト</sup>NITE」という。）は、本日、地域における化学物質のリスク評価に係る連携・協力に関する協定を締結しました。これにより、NITEの持つ知見やノウハウと、川崎市の化学物質のリスク低減に向けた先進的な取組で培った経験やデータを活かし、地域における高精度な化学物質の濃度推計シミュレーション手法を開発することで、地域における化学物質のリスク管理の促進を目指します。

## 2 協定締結日

平成30年8月31日（金）



## 3 協定の概要

### (1) 協定の名称

地域における化学物質のリスク評価に係る連携・協力に関する協定

### (2) 連携・協力項目

- ・地域における高精度な化学物質の濃度推計シミュレーション手法の開発
- ・化学物質に関する各種情報の共有と相互の技術的サポート

問合せ先

川崎市環境局環境総合研究所環境リスク調査課

担当 井上

電話：044-276-8649

独立行政法人製品評価技術基盤機構化学物質管理センター

担当 松崎、近藤

電話：03-3481-1967

# 川崎市と独立行政法人製品評価技術基盤機構との連携・協力に関する協定について

## 【連携・協力事項】

＜協定名称＞『地域における化学物質のリスク評価に係る連携・協力に関する協定』 

- (1) 地域における高精度な化学物質の濃度推計シミュレーション手法の開発
- (2) 化学物質に関する各種情報の共有と相互の技術的サポート

### 【概要】

化学物質は、様々な分野で活用されており、不可欠なものとなっていますが、その一方、人の健康を損なったり、動植物の生息若しくは生育に支障を及ぼすおそれがあります。人や環境への悪影響を未然に防止するためには、大気など環境中における化学物質の濃度を管理することが重要となっています。

川崎市は、市内の様々な化学物質を長年にわたり継続して測定しており、その実測データは市や事業者における化学物質の安全管理に活用されています。また、化学物質における市民の安全・安心のために独自の評価手法を構築し、全国に先駆け化学物質の人への影響を考慮した、地域における化学物質のリスク評価に取り組んできました。

独立行政法人製品評価技術基盤機構（以下「NITE(ナイト)」という。）は、化学物質排出把握管理促進法におけるPRTR制度により全国3万を超える工場等から届出された約300物質の過去10年以上の大気への排出量データに基づき、それぞれの化学物質について全国1km四方単位での大気中濃度をシミュレーションし、結果を地図（PRTRマップ）で公表しています。

NITEの持つ知見やノウハウと、川崎市の化学物質のリスク低減に向けた先進的な取組で培った経験やデータを活かし、地域における高精度な化学物質の濃度推計シミュレーション手法を開発することで、地域における化学物質のリスク管理の促進を目指すことを目的として協定を締結することとしました。

※ 川崎市における化学物質関連情報

<http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-1-3-0-0-0-0-0-0-0.html>

※ PRTRマップ

<http://www.prtrmap.nite.go.jp/prtr/top.do>

